

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

		整理番号	524
事業名	不法投棄廃棄物処理業務委託	予算科目	会計 一般会計・1 款 衛生費・4款 項 保健衛生費・1項 目 公害対策費・7目
担当部課名	市民生活部 生活環境課		
電話	0799 - 43 - 5024		
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__	
	まちづくりの目標	子どもを産みたい__育てたいまち(子育て)	
	施策目標	ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託 負担金補助

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		不法投棄による廃棄物	対象人数(人) 52,410
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 不法投棄により発生した廃棄物を適正に処理する。	
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 市内でゴミの不法投棄が発見され回収撤去が必要となった場合、その回収撤去業務を 社団法人シルバー人材センター等の業者に委託して実施している。	
	背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向) 市内では、家庭ゴミ等が大量に投棄され、衛生的、景観的に多数の苦情が寄せられる 状況がいくつか見受けられたため、重機等による大規模作業を必要とする前に、不法投 棄ゴミを発見し次第撤去することが求められた。	
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 ( 社団法人シルバー人材センター 外 )	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし		
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から		

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	委託料				指標単位
						千円
	指標説明 (指標算出 方法等)	実際に実施した作業量で委託料が支払われることから業務量が分かる。				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	目標値	1,000	850	500	500	0
	実績値	989	627	370		
	達成度 (%)	98.9	73.8	74.0	-	-
目標値設定 の考え方	当初予算見積額を目標値とする。					
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	直接事業費 (千円)	989	627	370	500	0
	不法投棄廃棄物処理委託料	989	627	370	500	0
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	989	627	500	500	0
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	989	627	500	500	0	
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	18.9	12.0	9.5	9.5	0.0	
経費に関する 補足説明						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
達成度	目標達成度	%	98.9	73.8	74.0	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 不法投棄の発生状況により作業量が決まってくるが、順次、回収・撤去はできている。						(5点評価)
							3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 不法投棄により発生した廃棄物を適正に処理できている。						(5点評価)
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
効率性	事業単価	円	18.9	12.0	9.5	9.5	0.0
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 重機等の大規模な作業で多額の経費が必要になる前に不法投棄廃棄物の処理できおり、効率は良い。						(5点評価)
							4
		公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 不法投棄ゴミが大量に遺棄された場合、簡単な作業では処理しきれず、重機等の大規模な作業が必要になることもあるため、定期的な清掃は必要である。						(5点評価)
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		大規模作業が必要となる前に不法投棄されたゴミを回収撤去することには十分な効果が認められる。ただし、『犬猫処理委託(小動物処理業務)』や『環境美化補助員委託』『不法投棄廃棄物処理委託』などの環境美化を目的とした同種の業務委託について整理統合を図る必要がある。				
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>評価グラフ</b></p> </div>				

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>不法投棄廃棄物の回収をシルバー人材センター等の業者に委託していましたが、平成22年度は、環境省の「地域グリーンニューディール基金事業」を活用して、臨時職員を2名雇用して対応することとしていたため、業務委託は休止する。</p>	<p>補助事業が終了した場合、不法投棄廃棄物の回収を臨時職員を雇用して対応するか、従来どおり業務委託をするかは、22年度の実施状況を勘案して検討する。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p><b>仮に</b>事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>不法投棄ゴミが大量に遺棄された場合、簡単な作業では処理できず、重機等の大規模な作業が必要になり、経費が増大すると同時に良好な景観が維持できなくなる。</p>	